

ログ

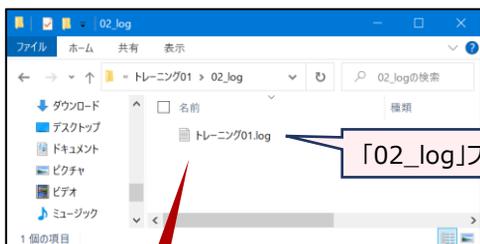
ログは、プロジェクトで行った操作の記録です。これまでにどのような操作を行ったかを確認できます。
 ログは、スクリプトに利用できる「コマンド」と呼ばれる形式で記録されます。

◇ログファイルとログの画面

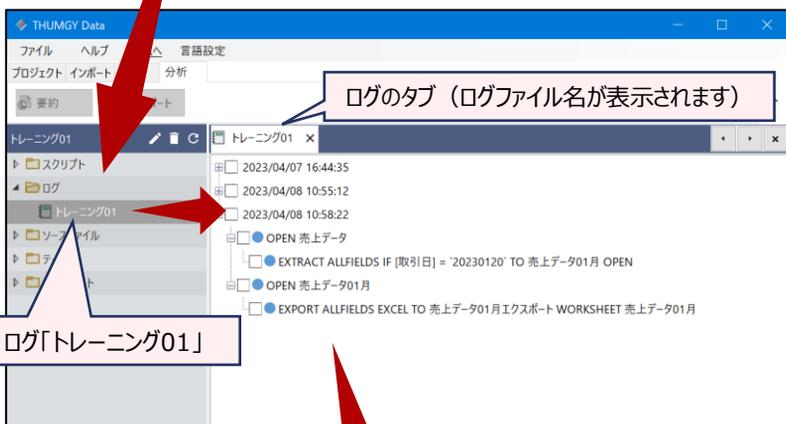
プロジェクト作成時に、プロジェクトと同じ名前で、拡張子「.log」のファイル（ログファイル）が作成されます。

操作の記録は、このファイルに書き込まれます。プロジェクトでは、操作の記録が一覧で表示され、個別の操作の詳細の記録を見ることができます。

（例）「トレーニング01」プロジェクトの場合



「02_log」フォルダ - 「トレーニング01.log」ファイル



ログのタブ（ログファイル名が表示されます）

ログ「トレーニング01」

ログの一覧は、3階層で構成されています。田、日のアイコンで、展開・折りたたみができます。

- 第1階層：プロジェクトを開いた日時
- 第2階層：《ファイルインポート》、テーブルを開く操作、《統合》のログ
- 第3階層：第2階層で開いたテーブルで実行された操作のログ

ログの丸いアイコンの色は、以下を表しています。

- 青：成功した操作
- 赤：失敗した（エラーになった）操作



ログの詳細のタブ（コマンド名と実行日時が表示されます）

ログの詳細

1操作の以下の情報が表示されます。

- 操作の対象となったテーブルの情報（テーブル名、適用されたフィルター、レコード件数）
- 操作の実行日時
- 実行されたコマンド
- ステータス（成功・失敗）
- 実行結果